



Weekly Report Rotary



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市首根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



皆様こんにちは。
昨年の梅雨入りが6月26日頃でしたが、今年は6月14日
で10日以上早まっています。しかし梅雨に入ったと
たんに猛暑が2週間ほど続くという予報です。気象的
には良くあるそうでこれを「梅雨の中休み」と言いますが、
最近では「梅雨のズル休み」と言うそうです。体が猛暑
に順応していませんので、皆様体調管理や室温管理に
ご注意ください。

さて当クラブの創立35周年記念式典では皆様のご協力、ご努力に感謝申し上げます。

1年前から構想に入り、本格的には1月15日の第1回実行委員会を皮切りに7
回の委員会を開催しました。その外にも各委員会で詳細を詰めて、開催に至り
ました。安藤実行委員会委員長、山田副委員長、佐藤龍史実行委員会幹事、佐藤
元彦副幹事、各委員会をはじめ会員の皆様のご努力、ご協力に対し感謝申し上げ
ます。私のミスを皆さんのたくみな進行で助けていただきました。ありがと
うございます。

私はテレビユー福島勤務時に何度かイベントに携わってきたのですが、各部
署からの応援、手伝いのプロジェクトを組むと、「やらされ感」の社員もいて、イ
ライラすることも多かったのです。しかし当ロータリークラブは会社経営の皆
様の集まりで各委員会での役割を着々とこなしていて、一企業のイベントをは
るかに超えた発想や団結力に、ロータリーの底力に感銘を受けるとともに、勉強
させていただきました。ロータリーに加入して本当に良かったと感じています。

加えて、JBCの吉田さんの記念講演、表千家の呈茶席、ふくしまチェンバー
オーケストラの祝奏など格調高い式典に感銘いたしました。

参加されたお客様は皆さん喜んでお帰りいただけたと思っております。翌日
のアトラクションでは、私は観光に加わりましたが、自然の中にたたずみ素晴
らしいダリの展示品の諸橋近代美術館に皆様感激していたようです。

皆様の企画立案から実施まで感謝申し上げます。重ねて御礼申し上げます。



吉田和敏様よりお礼

本日の出席率	
会員数	43名
出席者総数	22名
うち出席免除会員出席	3/5名
出席率	53.7%

2025年6月18日(水)

第39回(通算1626回)

エフズサンパレス

「クラブ協議会各委員会活動報告」

例会次第

- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆ロータリーソング
「それこそロータリー」
ソングリーダー 今野 朗会員



- ◆「ロータリーの目的」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長
- ◆退会のごあいさつ
・熊坂 友好会員
・西屋 明会員
- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 多田 憲司幹事
- ◆各委員会活動報告
・ロータリーの友の紹介
雑誌委員会 熊坂 友好副委員長
- ・ニコニコBOX委員会報告
ニコニコBOX委員会 植木 博隆委員
- ・創立35周年記念式典実行委員会より
安藤 正道実行委員長



- ・次年度理事会報告
鈴木 努会長エレクト
- ◆各委員会活動報告
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長

退会のごあいさつ



熊坂 友好会員

6月末日をもちまして退会、いや卒業をさせていただきます。
42歳の時に多田司朗さんにお誘いをいただき、福島ロータリークラブに9年間、田中善六PG肝いりの福島中央ロータリークラブの創立にチャーターメンバーとして参加させていただき今日まで35年間、大変会員の皆様にはお世話になりました。改めて心より感謝いたします。

創立と初代幹事、4代目会長、地区の役員も務めさせていただき私自身の人間性を大きく成長させていただきました。ロータリークラブは間違いなく人を育てます。

我がクラブの誇りは日本で初の4人の女性会員が入会したこと、初の女性幹事、初の女性会長の誕生です。誇りに思ってください。

いつかガバナーを誕生させようと多田さんたちと話し合っていました。芳賀さんをガバナーにすることです。それがなんと2年続けて平井カバナー、芳賀ガバナーが誕生したことです。クラブの誇りであります。

この誇りを大事にしながらこれからのさらなる発展を心から期待し、ご挨拶といたします。



西屋 明会員

2022年2月2日に当時会長でいらっしゃった今野さんのご紹介を得て入会以来、3年半弱の短い期間ではございましたが、皆様に様々なご助言をいただきながらの楽しいクラブ活動でした。

入会后初の例会での緊張はいまでも思い出されます。市内に知己の少ない私にとって、さらにステータスの有るロータリーの会員の皆様はお二方を除いて、面識のない方々ばかりでした。ですから入会后すぐにニコニコボックスの担当に就かせていただいたことは皆様の顔と名前を一致させ、会話をする糸口につながり大変ありがたいことでした。

山田年度では公共イメージ委員会委員長としてバレーボールやサッカー大会、水草清掃、エンドポリオの募金運動、福祉施設への寄贈など、本クラブの様々な活動に参加して奉仕の理念をあらためて知ることができました。

3年半の活動の中でとりわけ印象深いのは記録委員長として参加した昨年の全国RYLA研究会福島会議でした。福島クラブ幹事の中川氏のご協力をいただきながら分科会7グループ分の発言の文字起こしを行ったことで、RYLAに関する知識と意義を知ることができたこと、また全国で行われているロータリーの青少年への奉仕活動を知ることができたことは、今後市内での青少年育成の活動をサポートしていこうと思っている私にとっていい学びとなりました。

今後はこうしたロータリーでの活動の経験を活かし、少しでも地域のためになるお手伝いをしていきたいと思えます。そうした中でお会いした時には、本日のロータリーソングにもあるように、「やあ」と声をかけていただけると嬉しいです。

今後も福島中央ロータリークラブOBとしてお付き合いをよろしく願います。

最後に福島中央ロータリークラブの益々のご繁栄と皆様のご健勝を祈念し、退会のご挨拶とさせていただきます。3年半、お世話になりました。そしてありがとうございました。



2024-25年度◆各委員会活動報告



クラブ管理運営委員会 宍戸 宏行委員長

今年度の事業計画では、メーキャップの奨励を計画の一つとしました。年度当初の7月は、会員歴の浅い植木会員、小林会員とともに他クラブへのメーキャップをしました。また、東京六本木ロータリークラブへのメーキャップをきっかけに過日の創立35周年事業にも参加いただき友好を継続しています。例会の出席率については、5月までの例会出席率は、60.29%でした。70%を超えたのが2/5の例会でした。夜間例会は、おおむね60%でしたが、残念ながら目標の出席率(70%)には及びませんでした。プログラム案内については、例会の内容をできるだけ記

載し、出席を促すようにしました。親睦委員会については、計画通りの例会が開催でき、ローターアクト、会員間の親睦を図れたと思います。パートナーの出席も少ないながらもいただき、楽しい例会となったかと思えます。

会員の皆様におかれましては、是非とも一人1名の新会員推薦を頂きたいと思えますので、協力をよろしくお願いいたします。



東京六本木RCメーキャップ



公共イメージ委員会 梅津 寿光委員長

公共イメージ委員会の活動目標は、ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図り、より多くの人にロータリーを正当に知って頂き、より良いイメージを持っていただくための活動である。その様な思いで一年間活動して参りましたが、諸事情により当クラブのホームページがこの一年閉鎖されておりました。クラブから何の情報発信もできず、これについては公共イメージ委員会としては非常に残念でありました。年度末にきてようやく当クラブのホームページが開設される運びとなりました。開設に携わっていただいた関係各位のご努力に深く感謝を申し上げます。

また地区の公共イメージ・IT委員会の活動方針と連携を取りながら活動するとして当初の当委員会の活動計画は機能せず、大変反省をしております。この委員会は会員基盤の強化、会員増強にもつながるという極めて大きな任務を持った委員会かと思えます。来年度の公共イメージ委員会に心よりご期待申し上げます。次にクラブ会報についてですが、今年度から会報誌を全て内製化し、クラブ内で完結する。そして電子化を図り、

予算削減につなげる。このようなクラブ方針に基づき今年度スタートしました。その目標は十分に達成し、これに対しては、大変素晴らしい活動が出来たと自負しております。例会ごと無事発行することが出来て、一年の活動を終えそうです。当クラブにとり画期的な一年であったと思えます。

事務局の鈴木さんには大変お世話になりました。また取材に校正にと活動していただいた当委員会の皆様、会長幹事をはじめとした全会員の皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。

また雑誌委員会についても毎月例会の席上で「ロータリーの友」の紹介をさせていただきました。雑誌委員会の皆様に感謝を申し上げます。

以上簡単ではございますが公共イメージ委員会の活動報告と致します。一年間ありがとうございました。



2024-25年度 第1回例会会報



奉仕プロジェクト委員会

佐藤 和子委員長

奉仕プロジェクトはロータリーの活動の華です。今年度も前年度に引き続き、様々な活動や事業を奉仕プロジェクト委員会全員で協力し合い、実施してきました。

実施した活動事業は以下の通りです。

- 1) 「スポGOMI」への参加【9/28(土)】
- 2) 丹野良一会員寄贈の餃子を「社会福祉法人青葉学園」、「社会福祉法人福島愛育園」、「みんなの孫子老食堂」、「飯坂温泉子ども食堂えん」、「いいざか子ども食堂いっしょに」の5か所へ贈呈【10/2(水)】
- 3) 「猪苗代湖漂着水草回収事業」への参加【10/19(土)】
- 4) 「青少年会議」(杉妻会館)への参加【1/25(土)】
- 5) 第19回「福島中央RC杯 県北地区中学生バレーボール選手権大会」の共催【2/8(土)、2/9(日)】
- 6) 地区補助金を活用した青葉学園へのベッド、米、飲料水贈呈【2/27(木)】
- 7) RYLA研修会 ホテル華の湯への参加【3/15(土)】
- 8) 第33回「福島中央RC杯 少年サッカー大会」の開催【4/26(土)、4/27(日)】

RAC関連活動として

- 1) 3回の会長・幹事会への参加【8/17(土)、12/21(土)、5/31(土)】
- 2) RAC創立10周年記念事業(テルサ)の支援【11/30(土)】
- 3) RAC地区年次大会(フォレストあだたら)への参加【5/31(土)】



餃子贈呈



猪苗代水草回収



地区補助金事業



RAC10周年記念事業



ロータリー財団委員会/ 米山委員会

渡邊 英世委員長

ロータリー財団は、国際的な大組織であり、その多くの功績は個々のロータリアン、クラブ、地区の尽力によるものです。世界理解と平和の達成を目指す私たちの使命は、ロータリアンの弛まぬ活動と献身によってのみ達成することのできる崇高な目標です。毎年、国際ロータリー会長がロータリアンの目標を具体的に示す方法として、一つのテーマを選ぶ一方、ロータリー財団管理委員長は、財団の年次目標を定めます。

目標設定は、私たちが優先事項を決め、組織的に計画を練り、重大な決断を下し、夢を実現するための手だてとな

ります。目標が具体的で組みやすく、達成可能なものであるなら、それは人々の意欲を喚起し、やり遂げる意思を育む力を秘めています。

そこで今年度の国際ロータリー会長、ステファニーA.アーチックのテーマは「ロータリーのマジック」です。第2530地区早川敬介ガバナーの地区目標にむかって進んでまいりました。

また、米山奨学会委員会では、地区、分区とクラブ会長の掲げる中央ロータリークラブの目標に向かって一年間行ってまいりました。

会長、幹事、会員の皆様のご協力によりまして、終了することができました。ありがとうございました。



例会寄付受付



戦略計画委員会

佐藤 元彦委員長

今年度の戦略計画委員会は上期にて、2回開催をしました。戦略計画委員会は、5年後・10年後のクラブのあるべき姿を想定し、今あるべきクラブ運営について協議を行い実行する為にどうしたらいいのかを考えて行く委員会です。

今年から、RIにおいて3年分の目標設定を行い、次の年度に目標の達成状況を確認した上で、さらに3年分の目標設定を繰り返す事となっています。

併せて、MyRotaryのクラブセントラルでの目標設定が、例年では当該年度の目標設定を1年分設定し、年度を

終えたら何項目の目標をクリアできたかを判定し次年度において、クラブ表彰が行われていましたが、今年度より3年分の目標を入力する事に変更されています。昨日、佐藤信雄会長と一緒に、当クラブの目標設定について入力を行いました。

現在当クラブが抱える一番の問題は、会員の減少です。

下期は、委員会の開催が出来ていませんが次年度の戦略計画委員会を今後開催し、戦略計画委員会において、会員増強委員会と連携を取り、3年後には50名の会員数に戻す事を目標にし、この目標を実行する為にはどうすれば良いかについて委員会にて、協議を重ねて行きたいと考えています。

会員の皆様におかれましては、是非とも一人1名の新会員推薦をいただきたいと思いますので、協力をよろしくお願いいたします。



会員増強委員会

箭内 一典委員長

代読:山田 稔会員

会員増強委員会の年度初めである7月1日現在の会員数は40名でした。

新年度に入り、佐々木巨樹会員、石橋真一会員、川瀬哲雄会員に入会していただき43名となりました。更なる会員増強の為、会員の皆様に新会員候補者の推薦用紙を配

り、1人1名の推薦をお願いしましたが、推薦書を提出した会員は4名だけでした。

それでも一応13名の候補者名が揃いましたが、残念ながらいずれの方も入会には至りませんでした。やはり高崎ロータリークラブの田中久夫PGが著書「ロータリーに入ろう」で述べている様に、「会員増強は年配者を除き、会員候補者と同年代でパワーのある若手会員じゃないとダメだ」と、つくづく実感しました。

今月に入ってから、数名の会員候補者名が挙がって来ましたので、次年度の会員増強委員長に引き継ぎたいと思います。



クラブ研修/情報委員会

箭内 一典委員長

代読:山田 稔会員

年度初めに計画した、クラブ独自の新会員オリエンテーションを2月か3月に実施予定していましたが、3月1日に当クラブホストで開催した県北第一分区分区インターシティ・ミーティング、3月15日開催の県北第一・第二分区分区合同新会員オリエンテーション等の事業が続き、新会員の皆さんも大変忙しい為、実施できませんでした。

インターシティ・ミーティングでは、石黒秀司PGに「入って良かったロータリー」と言う演題で基調講演をお願いしました。その後のディスカッションには、新会員を含む多くの当クラブ会員に参加していただき、「クラブ活性

化」の策について、活発に議論していただきました。

また、二本松市で開催された県北第一分区分区の新会員オリエンテーションには、当クラブの佐藤信雄会長と川瀬哲雄会員、石橋真一会員が参加しました。川瀬哲雄会員には、その後の例会で詳しく報告していただきました。

その他の地区・分区分のセミナーにも担当委員長に積極的に出席していただき、ありがとうございました。



IM基調講演



ロータリーの友の紹介

雑誌委員会
代読:熊坂 友好副委員長

歌おう！」と呼びかけたことでした。歌は会員の心を和らげ、クラブ内の対立時にも一体感を生み、解散の危機を救いました。歌は結束の力を示す重要な役割を果たしたのです。

【横組みページ】

- P05 RI会長メッセージ。
この1年、多くの経験を重ねましたが、未来を見据え行動することが重要です。ポリオ根絶や平和推進には継続的な支援と協力が不可欠です。孤独が広がる今、ロータリーは友情や目的意識を育む場であり、皆さまこそがその希望の光、「ロータリーのマジック」です。
- P08 「ロータリーソング」について。
ロータリーソングの始まりは1905年、シカゴRCのラグルスが退屈な会合で「みんなで

【縦組ページ】

縦P19「卓話の泉」

／西宮恵比寿ロータリークラブの近藤修平さん
オペラはイタリア語で「作品」を意味し、音楽と芝居を融合した貴族の余興が起源です。「椿姫」や「カルメン」など恋と死を描いた名作が多く、マイクを使わずに響く「声の芸術」が最大の魅力です。美しい歌唱法「ベルカント」に支えられ、今も進化を続けています。

(原稿 亀岡 政雄委員長)



幹事報告 多田 憲司幹事

- 1) 次週6月25日(水)の例会は18:30～ウェディング エルティにて夜間例会です。今年度最終の例会となりますので、多くのご出席をお願いいたします。



ニコニコBOX委員会報告 佐藤 和子奉仕プロジェクト委員長

■佐藤 信雄会長
創立35周年記念式典ではおつかれ様でした。ありがとうございます。

■穴戸 宏行会員
35周年事業、おつかれ様でした。

■芳賀 裕会員
35周年おつかれ様でした。

安藤 正道
石橋 真一
梅津 寿光
鍛冶 輝雄
熊坂 友好
小林 潤子
今野 朗
斎藤 高紀
坂本 和司

佐々木 臣樹
佐藤 和子
佐藤 信雄
佐藤 元彦
佐藤 龍史
穴戸 宏行
鈴木 努
多田 憲司
西屋 明

芳賀 裕
桃井 三夫
山田 稔
渡部九二五郎

目標 200万円

本日の投入額 22件 27,000円

累計 1,393,770円

